

2020年10月19日

菅政権にかわる野党連合政権の選択肢 総選挙をたたかう市民の立場

上智大学 中野晃一

何が継承され、何が変化しつつあるのか

改憲・軍事化

96条改憲の企て（2013）、NSC法（2013）、特定秘密保護法（2013）、辺野古新基地建設推進（2013-）、防衛装備品移転三原則（2014）、集团的自衛権行使への解釈改憲（2014）、安保関連法（2015）、南スーダンPKOで自衛隊に「駆け付け警護」任務付与（2016）、安全保障技術研究推進制度110億円に（2017）、北朝鮮「危機」で米艦防護（2017）、共謀罪（2017）、武器「爆買い」（2018-）、自衛隊中東派遣（2020）、敵基地攻撃論（2020）

国家の私物化・反自由主義

内閣法制局長官人事介入（2013）、NHK会長人事介入（2014）、河野談話作成過程検証の報告書（2014）、元朝日新聞記者に対する攻撃（2014）、国立大学での国旗国歌要請（2015）、森友学園問題（2017）、加計学園問題（2017）、科研費バッシング（2017-2018）、桜を見る会（2019）、河合夫妻選挙違反事件（2019）、あいちトリエンナーレ弾圧（2019）、カジノ汚職事件（2020）、検察幹部定年延長（2020）、日本学術会議人事介入（2020）

「アベノミクス」・「自助」第一

「三本の矢」（2012-）、東京オリンピック決定（2013）、「女性活躍」（2014-）、「地方創生」（2014-）、「新三本の矢」（2015-）、「一億総活躍」（2015-）、「TPP」（2016）、「働き方改革」（2016-）、「カジノ法」（2016）、「人づくり革命」（2017-）、「入管法改正」（2019）、「カジノ推進」（2019-）、「コロナ禍における「経済優先」」、「Go Toキャンペーン」、「オリンピック固執」、「行政の縦割り打破」、「携帯電話値下げ」、「地方銀行の再編促進」、「政府のデジタル化」、「オンライン診療の恒久化」 ???

大局をどう理解するか

安倍から菅への政権継承は、1980年代より繰り返されてきた

「保守の危機を『改革保守』が救う」というパターン

(中曽根、細川・小沢、橋本、小泉、小池、維新・・・)

日本の議院内閣制における選挙の構図は、水平な座標軸での「保守」対「革新（リベラル左派）」などではなく、垂直な座標軸での「与党」対「野党」

「良い」政策、正しいことを言っているだけでは勝てない

(良い政策や正しいことを言うことは不要、無駄ということではない)

「選択肢」をつくり、提示する

安倍から菅に代わり戦いにくくなった面もある一方で、「復古保守」と「改革保守」との三つ巴の構図は後退し、「改革保守」と正面から戦う構図が見えてきた面もある

「いのちと人間の尊厳を守る」選択肢を有権者に対して提示できるか
いかに伝えるか